

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第101回廃止措置分科会（R3SC） 議事次第

1. 日時 2024年11月12日（火） 9:00-10:00
2. 場所：Web会議（Webex）
3. 出席者：岡本主査、目黒副主査、杉山幹事、石原、工藤、黒川、小山、佐藤、
白畑（鈴木代理）、高橋、田村、鳥居、湊（仲田代理）、西村、平井、
見上、米山
委任：青井、中村、田中
4. 配布資料
R3SC-101-0 議事次第
R3SC-101-1 人事案件
R3SC-101-2 第100回廃止措置分科会議事録（案）
R3SC-101-3-1 基盤応用・廃炉技術専門部会 耐震安全技術レポートの審議状況
R3SC-101-3-2 （標準委員会）耐震安全技術レポート最終報告案
R3SC-101-3-3 耐震安全技術レポート新旧比較（抜粋）
R3SC-101-3-4 耐震安全技術レポート完本案
R3SC-101-4 標準制定5か年計画（R3SC-91-4）
5. 議事
 - (1) 一般事項
 - ① 20名/20名（うち3名は委任、2名は代理）の出席により分科会成立を確認した。
 - ② 人事案件 [R3SC-101-1]
鈴木委員（関西電力）が退任された。また、矢谷友教氏（関西電力）の委員就任が委員の投票により可決選任された。
 - ③ 次回分科会は、1月16日（木）13:00～14:00（オンライン開催）
 - (2) 前回議事録確認 [R3SC-101-2]
特にコメントなし
 - (3) 【審議】耐震安全技術レポート[R3SC-101-3シリーズ]
 - 担当委員から資料R3SC-101-3-1～-4によって耐震安全技術レポートの専門部会への報告結果及び次回標準委員会への説明内容等について説明された。
なお、第64回専門部会（11月1日）においては、耐震安全技術レポートが審議され最終報告として承認された。また、次回標準委員会（12月4日）に報告することについても承認された。
 - 以下の質疑応答があった。
 - ① 岡本主査から、技術レポートの発行責任は専門部会であるので、標準委員会に説明することが必要なのかと質問があった。これについて、学会審議要領によるものであり、学会事務局からの指導に従って対応するものであると担当の委員から回答があった。
 - ② 次回標準委員会では、学会審議要領の4.3項（d）による説明でなく、同項（f）

の対応ではないのかと質問があった。これについて、岡本主査から、学会審議要領の規定が適切ではないように思われるため、標準委員会にコメントしておく伝えられた。

- 変更内容について出席委員の確認をいただき、賛成多数で可決された。

(4) 2024年度原子力学会倫理教育

- 杉山幹事から倫理教育を受講するよう依頼があった。

⇒ さくらポケットからテキストをダウンロードし、受講後の意見を杉山幹事まで返信すること。なお、さくらポケットが閲覧できる期限は11/30まで。

(5) 標準制定5ヵ年計画の見直しについて

- 資料R3SC-101-4（標準制定5ヵ年計画（R3SC-91-4））により現状を確認し、関係する委員を中心に見直しを確認していくことになった。

本件について、岡本主査から、利用する事業者等のニーズを確認して、適切なシーズを提供するということを意識して見直してほしいと伝えられた。

⇒ 3つのガイドライン等の担当委員に対して、作成状況等の確認を行うこと。その際は、岡本主査に情報共有（電子メールのCC等）することとなった。

(6) その他

- 担当委員から、ISOに関連して韓国からの「廃止措置の標準」のレビュー依頼について紹介された。電気協会から正式な依頼があるまでは保留とすると岡本主査から伝えられた。

以上